平成19年5月３１日

文京区区長　成澤廣修様
文京区区議会議長　橋本直和様
文京区企画政策部長　青山忠司様

文京の文化環境を活かす会
■■■■■■■

旧元町小学校校舎を文京区立文学館として保存活用することに関する要望書

当「文京の文化環境を活かす会」（以下当会）では、前区長の時代に文京区ゆかりの文学者の顕彰のためにも文学館を設立してくださいと要望書を提出してまいりました。

文学館は前区長煙山氏もご自身の夢と語られていました。ところが区は調査費用すら予算に組み入れませんでした。そこで当会では、昨年５月 25 日に具体案としまして、旧元町小学校を文学館として再活用してくださるように煙山氏に面談、要望書を手渡しました。

この際の要望書は当日、当会より議長室にもお届けしましたので、新区長は内容をご承知の事と存じます。

昨年度中の都市計画審議会では、旧元町小学校の場所に元町公園を移設し、文化財的な価値の高い現在の元町公園の場所に、体育館を含む高層複合ビルを建設する計画が内密のうちに進められていたことが判明いたしました。

都市計画審議会を再三傍聴いたしましたが、この計画には区民といたしましても理解に苦しみ、不信感を募らせるところです。

関東大震災の復興計画の中、セットで設置された復興小学校と小公園は５２ヶ所ありましたが、その内、優れたデザインの原型を留めているのは元町公園たった１ヶ所だけとなりました。このような貴重な校舎や公園を区は大切に保存活用する道を模索せず、なぜ改廃、変更する方法に固執するのでしょうか。

「文の京」と称している文京区にふさわしい「文化と教育と歴史ある区」の実現のためにも、１億円の費用を破壊のためではなく、修復活用のためにこそ使うべきです。

元町公園が「日本の歴史公園１００選」や「日本の美しい歴史風土 100 選」に選ばれた事の利点を活用すれば、新しい観光名所として文京区の観光の発展にも役立つとともに、イメージアップも出来ると考えております。

また、昨年も報告申し上げましたが、文学館が早急に出来ないならば、一葉に関する個人収集家の所有する資料も一括して他所に引き渡されてしまう可能性もあります。

早急にご検討の上、旧元町小学校を文学館として活用し、あわせて元町公園も文学館と一体で保存整備することにより、文化遺産の保全活用を実現されることを再度要望いたします。

なお、この要望書に対するご回答は書面においてお願い申し上げます。

連絡先　■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
文京の文化環境を活かす会　■■■■■■